

# 外国人材受け入れ本格化

## □札幌・特養フローラルさつなえ□

外国人技能実習制度に介護職種が追加されたのが2017年11月。札幌明啓院は制度化前の17年度当初から新たな仕組みの可能性に着目し、いち早く取り組んで受け入れノウハウを学び、後に続けたという。

### ベトナムから技能実習生2人採用

他法人に伝えていくことで社会貢献にもつながると考え、準備を進めてきた。法人内で受け入れ方針を固め、17年8月には高谷施設長がベトナムを訪問。その際、同じく受け入れを検討していた社会福祉法人黒

道内でも外国人介護人材受け入れが本格化してきた。社会福祉法人札幌明啓院の運営する特養フローラルさつなえ(札幌市東区)は外国人技能実習制度を活用し、今月3日にベトナムから実習生2人の受け入れを開始した。現時点で介護人材は充足しているというが、高谷敦生施設長は「5年、10年先の人材不足を見越し、外国人受け入れノウハウを積み上げるのが狙い」と説明する。受け入れを通して蓄積した情報は自法人にとどめず、他法人に向け積極的に公開・共有していく考えで、「道内の介護人材不足を共に乗り越えていければ」と力を込める。



ベトナムから来た実習生のベトナム人(左)と日本人(右)の2人。

実際に作業をこなして、確認する」と、日本人への指導と違った難しさがあるという。こうした文化の違いなどを通して、既存の教育方法、業務マニュアルを見直すきっかけにもなるとし、「外国人だけでなく新人らに対する指導方法改善や、施設全体の

### ノウハウ蓄積、他法人に積極公開・共有も

ベトナムから来た実習生のベトナム人(左)と日本人(右)の2人。高谷施設長は「文化や習慣が違うため、例えば『片付けて』という指示も、どの程度が『片付いた状態』かが分からないこともある。しかし、作業完了後のイメージを伝えると、実際に作業をこなして確認する」と、日本人への指導と違った難しさがあるという。こうした文化の違いなどを通して、既存の教育方法、業務マニュアルを見直すきっかけにもなるとし、「外国人だけでなく新人らに対する指導方法改善や、施設全体の

高谷施設長は「手続きTYに移行予定。ベトナム人(左)と日本人(右)の2人。高谷施設長は「文化や習慣が違うため、例えば『片付けて』という指示も、どの程度が『片付いた状態』かが分からないこともある。しかし、作業完了後のイメージを伝えると、実際に作業をこなして確認する」と、日本人への指導と違った難しさがあるという。こうした文化の違いなどを通して、既存の教育方法、業務マニュアルを見直すきっかけにもなるとし、「外国人だけでなく新人らに対する指導方法改善や、施設全体の

展したのは今年3月。道内3法人で採用が決まった実習生12人の入国が認められ、三重県にある研修センターで1カ月の法定講習を経て今月2日に来道した。12人のうちゲン・ヌー・ホアン・ザンさん、レー・ティ・キム・リエンさんの2人が3日からフローラルさつなえで勤務をスタートしている。

介護新聞は道内介護事業者を対象とした、外国人介護人材受け入れに関するアンケート調査を実施しています。調査票の届いた施設・事業所はご協力をお願いします。外国人介護人材受け入れで道内事業者アンケート実施中

介護新聞